

2013年9中部品質工学研究会 議事録

- ◆ 日時:2013年9月7日(土) 10:00~16:00
- ◆ 場所:中部品質管理協会
- ◆ 参加者(敬称略):井上、伊藤、大見、岩本、川畑、杉浦、牧野、山口、横尾、池田(記)
- ◆ 内容

1. 解析研究:直交表の解析

L12近直交表の計算方法(第21回品質工学発表大会/論文発表17より、以下行列による計算)を、L18の近直交表(2水準×1+3水準×8)の補正計算と比較して考察。行列による計算を用いれば、エクセルのマクロなどで簡易に近直交表の補正計算が実施でき、実務運用に有効であるとの認識を得た。L18近直交表も同行列による計算で補正計算できる。

2. 事例研究;市場情報の活用

- ・事例研究①7月に議論した機能性材料の防虫評価方法について再度議論した。内容は割愛する。
- ・事例研究②煙草の官能評価方法について議論した。内容は割愛する。
- ・市場情報を設計へフィードバックする取り組みについて議論。複数部署を挟むので質の確保が困難、情報伝達のスピードが重要、などの意見があった。

3. 事例研究; アングルトライ社M法について

- ・アングルトライ社の最新ソフトを使用して、従来のMT法から、新しい 誤圧法、M法の紹介を実施した。旧オーケンのソフトで、単位データの精度を上げる方法についての紹介を行った。10月には、MT法の要因効果図について、わかりやすい事例で紹介予定。

以上